

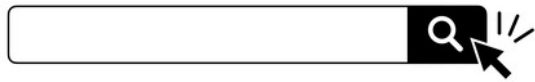


情報実習 (Information EXperiment)

2単位, 金曜3・4講目, 全13回
倉本・石渡・鎌田・高木・TA

背景

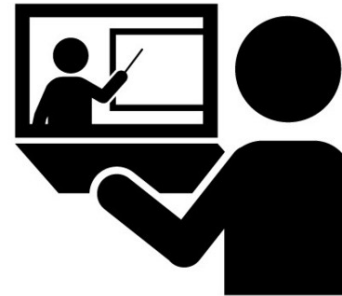
計算機ネットワークは生活の基盤



検索エンジン



買い物



授業



仕事

背景

科学の分野でも計算機ネットワークは基盤

- 研究に不可欠
 - 計算機ネットワークを介して情報を得て、理解し、議論し、まとめ、発信する
- 地球惑星科学の分野ではなおさら
 - 巨大で複雑な対象を扱う
- 多くの研究機関がデータやコンテンツを管理・公開
 - NASA, NOAA, USGS
 - JAXA, 気象庁, 国立天文台
 - 大学

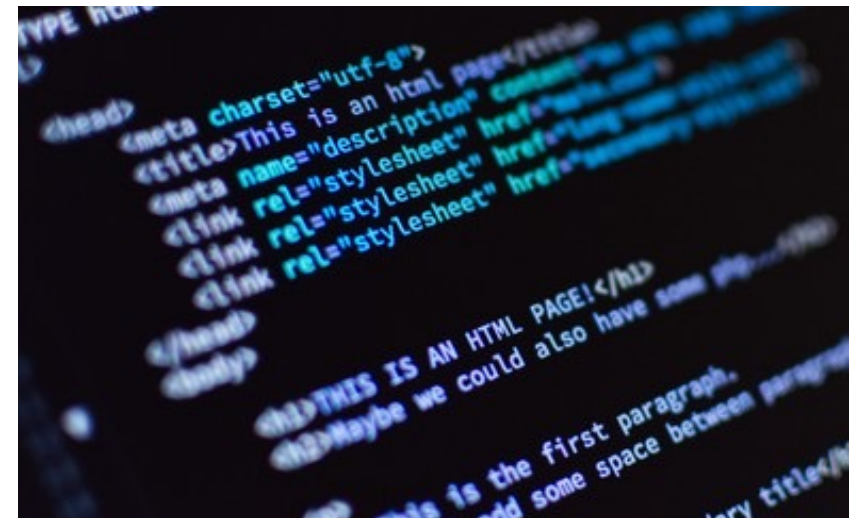
ねらい

計算機ネットワーク技術の基礎知識を習得

- 「正しい」使い方を身につける
 - 「なんとなく使えている」から「分かって使う」へ
 - 知っておくべきことを知る
 - 周囲を困らせないように
 - いつの間にか世界に迷惑をかけないように
 - 解決すべき問題を自分で解決できるように
- 受信者から発信者へ（「使う」から「作る」へ）
 - 科学の道具として柔軟で強力なことを体感
 - 地球惑星科学の全体像に想いを馳せ、情報地球惑星科学を進められる人材が輩出することを希望

主な内容

- 計算機・ネットワークの基礎
 - UNIX
 - 操作を習得する
 - OSのインストール方法を学ぶ
 - 各種の設定、カスタマイズを体験する
 - 計算機ハードウェア
 - 自力でパソコンを組み立てる
 - TCP/IP: 全世界の計算機を結んでいる規約
 - 手元の計算機で遠くの計算機を動かす
- 試行錯誤し、手を動かして体験する
- 応用編
 - 大気大循環数値シミュレーションに挑戦



各回の進め方

前半 ▶ 基本的なレクチャー

- 30～60分
- Webで復習可能

後半 ▶ それに基づいて実技

- 1～3名あたり1台の専有パソコンをいじりたおす
- 先輩が参加してアドバイス

評価方法

- 参加状況
 - 原則として全出席（遅刻厳禁）
 - 積極的な参加を高く評価
- レポート提出状況と内容
 - 数回レポート課題を課す
 - ELMS/Moodleで提出
 - 全提出が必須
 - 第3者が読んで役に立つレベルのレポートを高く評価

最後に

- 苦手意識がある人でも大丈夫
 - これまで約20年間実施
 - 履修者の大部分(約750人)が単位を取得
- 4年次でも受講可能
 - どんな道に進むにせよ役に立つ
- 定員:30名程度(全学年あわせて)
- 初回:4/10(金)13時- @ 8-107号室